
第2回アニメキャラ限定 謎解きバトルTORE!

よしかず

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

第2回アニメキャラ限定 謎解きバトルTORE！

【Nコード】

N9865Y

【作者名】

よしかず

【あらすじ】

今回のTOREで対決するアニメは、俺の妹がこんなに可愛いわけがないととらドラ！という、ライトノベル原作のアニメ同士の対決。

果たしてどちらのアニメがより多くの秘宝を獲得できるか・・・。

挑戦者の紹介

今回、TOREで対決するアニメは「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」チームと「とらドラ！」チーム。人気ライトノベルのアニメ対決である。

挑戦者 俺の妹がこんなに可愛いわけがないチームからは、高坂桐乃・高坂京介・田村麻奈実・沙織・バジーナ（槇嶋沙織）・黒猫（五更瑠璃）

とらドラ！チームからは、逢坂大河・高須竜児・櫛枝実乃梨・北村祐作・川嶋亜美

果たしてライノベ原作のアニメ対決、果たしてどちらが多くの方ファ男像を獲得し、賞金獲得に挑むのか・・・。

ファラ男との会話

T O R Eのスタジオに集まる俺妹ととらドラの面々。

ファラ男「ようこそT O R Eへ来てくださいました！俺妹ととらドラの皆さん！」

桐乃「この番組で私たちがどれだけ頑張れるかが重要ね。勝つためにはちゃんとやりなさいよ、あんた！」

桐乃は京介に言う。

京介「桐乃、気合入ってるな・・・。」

大河「竜児！あんた絶対に足を引っ張らないでよ！」

竜児「あーわかってるよ・・・。」

大河の威圧的な顔に竜児はタジタジ。

ファラ男「どうやらこの2つのアニメの共通点は、主人公がヒロインに世話焼かされてばかりな所ですね。」

桐乃「それを言わないで！」

大河「それを言うな！」

桐乃と大河は2人同時にファラ男に言った。

ファラ男「君たち、実は宣伝があるんでしょ？宣伝に為にTOREのゲームをがんばらなくちゃ。」

ファラ男が言うと桐乃と大河は、

桐乃「え？あんたたち宣伝の為にここに来たの？」

桐乃はとらドラチームに言う。

大河「何？そっちも宣伝するために来たのか？」

返すように大河は俺妹チームに言う。

桐乃「だったらこれは負けられない戦いね。」

大河「こっちもこのアニメをアピールするために勝ってみせる！」

ヒロイン2人は闘志を燃やす。

京介・竜児（たかが宣伝ぐらいでそんなに闘志燃やすなよ・・・。」

主人公2人はこう思っていた。

麻奈実「せっかくここに来たんだから、楽しくやらないとね。」

沙織「TOREにゲームに参加できるのが楽しみでござるな。」

黒猫「おもしろいのかな？この番組。」

実乃梨「よし、私たちも頑張るぞー。」

亜美「絶対に勝つわよー。」

北村「僕たちのチームの女子、結構気合入っているな。」

男ナレ「ルールはこちら。各チーム2つのステージに挑戦し、最終的にファラ男像を最も獲得したチームが、賞金獲得の為の最後の試練に挑む！」

第1ステージ、まずは俺妹チームの挑戦。

俺妹チームの挑戦 床の間 その1

俺妹チームが挑戦する第1ステージは床の間。

挑戦するのは、高坂桐乃・高坂京介・田村麻奈美。
滑りやすい床に、奥には奈落の底。

果たしてこの3人はうまくまとめられるか!?

3人は手袋と靴下をした状態で部屋に入ってくる。

桐乃「ここが私たちの挑むステージね。」

麻奈実「でも一見すると何もないみたいだね。」

京介は奥の方を見て、

京介「いや、奥に深い穴がある。絶対何かがあるはずだ。」

そしてモニターにファラ男が現れる。

ファラ男「ファラファラファラファラ、ようこそ床の間へ! 桐乃、あまり仲のよいとはいえない2人と組んで挑戦だけど大丈夫?」

桐乃「ま、まあ今回だけは兄貴と地味子と一緒に協力して、このステージをクリアしてみせるわ。」

ファラ男「そうですかー。」

京介（本当に噛み合えるのか? 桐乃と麻奈実・・・。」）

京介は心配そうに思っている。

フアラ男「それでは早速、この部屋の仕掛けを説明しましょう！」

フアラ男がそう言うとき・・・、

麻奈実「えっ、何ですか！？床が傾いていますよ！」

床が傾き始めた。

男ナレ「そう！床が坂になるのがこのステージ！床は30度まで傾き始める！」

京介「とにかく、まずこの足場に足をついた方がいい！」

京介はそう言い、3人はあらかじめついている足場に足をつける。

そして床は30度まで傾いた。

男ナレ「このステージでは、10分以内に傾く床を移動しながら、3つのゾーンでクイズに挑む。全てクリアすると最後の難関に挑戦できるが、一歩間違えれば奈落の底へ……。この状態から、3人の挑戦が始まる！」

アイヤーホイヤー

チャレンジ開始

女ナレ「チャレンジスタートです。」

ピーーーー

そして10分のカウントダウンが始まる。

桐乃「始まったみたいね。」

ここからは桐乃↓桐、京介↓京、麻奈実↓麻と省略します。

女ナレ「第1ゾーンに移動してください。」

そして第1ゾーンの足場が現れる。

麻「どうするの？」

京「よし、俺が土台になって2人を向こうに行かせることにするか。」

桐「じゃあそれで決まりね。じゃあまず私からよ。」

そう言うのと桐乃は京介の方に乗っかる。

桐「よし、行くわよ。」

桐乃は第1ゾーンの足場へ飛び越えようとする。

バッ

楽々と足場に着いた。

桐乃「ちゃんと着いたわよ。」

麻「じゃあ次は私ですね。」

麻奈実は京介の肩に乗っかる。

麻「でももし落ちたら・・・。」

麻奈実は少し不安そうだ。

京「桐乃、悪いが手を伸ばしてくれないか？麻奈実を確実に行かせるためにも。」

京介の言葉に桐乃は、

桐「・・・しょうがないわね。わかったわ。地味子、ちゃんと手をつかみなさいよ！」

桐乃の高圧的な言葉に麻奈実は、

麻「はい・・・。」

快く返事をした。

そして桐乃は麻奈実に向かって手を伸ばす。

麻奈実も手を伸ばし、

ガシッ

2人は手をつないだ。

麻「じゃあ行きますよ。」

麻奈実は移動しようとする。

麻「おととと・・・。」

慎重になりながらも無事に足場へ着いた。

京「じゃあ最後はオレだな。」

京介はダッシュで駆け上がろうとする。

京「おらっ！」

バツ

駆け上がった。

そして余裕で足場にたどり着いた。

京介は体全体を上にする。

京「よし、これで3人そろったな。」

女ナレ「第1ゾーン、クイズスタートです。床が傾き始めます。」

床 始動

京「傾いてきたぞ。」

女ナレ「共通ワードクイズ、正解ノルマは3問。」

男ナレ「共通ワードクイズは、2つの文を見て、共通する言葉を当てるクイズである。」

女ナレ「第1問。」

1・拳銃を折りました。

2・鍵盤楽器です。

□□□ん

麻「銃を折った……。」

京「鍵盤楽器……。」

桐「拳銃……ガン、折った……。あっわかったわ!」

桐乃はボタンを押し、

カチッ

桐「『おるがん』!」

ピンポーン

正解 おるがん（1・折るガン 2・オルガン）

京「早いな。」

女ナレ「第2問。」

1・タコにあるものです。

2・10人でかけっこし、ビリから2番目。

□□□□ん

2文字目は小さい文字。

京「10人でかけっこしてビリから2番目ということは9位だな。」

桐「そうね。それからタコにあるものと言えは・・・、」

桐乃は考えていると、麻奈実が、

麻「吸盤じゃないの？」

桐「あっ吸盤ね！」

桐乃はボタンを押し、

カチッ

桐「『きゅうばん』！」

ピンポーン

正解 きゅうばん（1・吸盤 2・九番）

桐「あと1問ね。」

女ナレ「第3問。」

1・国の借金の事です。

2・異常なおいがする子供です。

□□□い

桐「どういふこと？異常なおいがする子供って？」

麻「国の借金って、何でしたっけ？」

3人は考える。

すると京介が、

京「異常なおい、くさい・・・子供・・・、くさい子、子くさい・・・、あっわかった！」

カチッ

京介がボタンを押した。

桐「え、わかったの？」

京「『ごくさい』！」

ピンポンピンポーン

正解　こくさい（1・国債　2・子、臭い（くさい））

床　一時停止　32・6度。

桐「止まったわね。」

女ナレ「ノルマをクリアしたので、床の傾きが止まりました。第2ゾーンに移動してください。」

そして第2ゾーンの足場が現れる。

残り7分35秒。

果たして3人は無事次のゾーンに行けるか・・・。

床の間 その2

床の間に挑戦中の俺妹チームの桐乃・京介・麻奈実。

第1ゾーンのクイズをクリアし、第2ゾーンの足場に向かう。

第2ゾーンの足場が現れる。

麻「さっきより床が少し傾いたね。」

桐「どうする？」

京「さっきと同じ方法で移動しよう。」

そう言うところ桐乃は京介を土台にして、第2ゾーンの足場に向かおうとする。

桐「行くわよ。」

バツ

飛び移った。

そして無事にたどり着いた。

麻「次は私ですね。」

麻奈実も桐乃同様、京介を土台にする。

桐「ちゃんと掴みなさいよ。」

桐乃は手を伸ばす。

麻「行きますよ。」

恐れながらも麻奈実は第2ゾーンに飛び移ろうとする。

バツ

飛び移った。

麻「あわわ……。」

ヒヤッとしながらも桐乃の手を掴んで、なんとか足場に着いた。

桐「全く、世話が焼けるわね。」

桐乃はブツブツ言う。

麻奈実は足場を上る。

京「よし、最後は俺だ。」

京介は助走をつけて足場へ移ろうとする。

バツ

飛び移った。

京「おっとっと……。」

足と手が足場につき、京介は無事に上った。

桐「ここも3人落ちずに済んだわね。」

女ナレ「第2ゾーン、クイズスタートです。床が傾き始めます。」

床 再始動

床が再び動き始め、第1ゾーンの足場がなくなる。

女ナレ「共通ワードクイズ、正解ノルマは2問。第1問。」

1・待ち合わせの会社を探している人が道で他の人に、会社がある所はどこかと聞いて、近くにあるとわかって一言。
2・注文したそばを店員さんが持ってきたが、新聞に夢中で全くそばに手をつけていない客に店員さんが一言。

□□□□る

桐「会社は近くにあった・・・？」

麻「そばを手につけていない・・・。」

京「近くにあったをどう表現するかだな。」

考える3人。

すると桐乃が、

桐「そばを食べないとのびちゃうわね……。」

そう言うと京介が、

京「そばがのびる……、そばのびる……びる……。わかった、
『そばのびる』だ！」

桐「あっそうね！」

京介がボタンを押す。

3人「『そばのびる』！」

ピンポン

正解 そばのびる（1・そばのビル 2・そば伸びる）

桐「あんた、うまいフォローだったね。」

京「余計なお世話だ。」

女ナレ「第2問。」

1・妻が自家製のパンを夫に見せて一言。

2・無人島にさまよう男2人。Aが腹がすいたあまり、履いていた
下着を食べ始め、Bが一言。

□□□□た

5文字目は小さい文字。

京「下着を食べた・・・？」

桐「自家製のパンということはパンを作ったわけよね？」

京「パンを作った・・・、パン作った・・・パンツ・・・食った・・・あっ！」

桐「そう！『ぱんつくった』よ！」

桐乃はボタンを押す。

カチッ

桐・京「『ぱんつくった』！」

ピンポンピンポーン

正解 ぱんつくった（1・パン作った 2・パンツ食った）

床 一時停止 床34・9度 残り4分45秒

女ナレ「ノルマをクリアしたので、床の傾きが止まりました、第3ゾーンに移動してください。」

そして第3ゾーンの足場が現れる。

桐「（さっきと）同じやり方でいいわよね？」

京「ああ。」

麻「それでいいです。」

桐乃は京介を土台にする。

桐「また角度がきつくなってるけど……。」

桐乃は傾いた角度に警戒するも、

桐「よし、行くわよ！」

桐乃は全力で第3ゾーンの足場に飛び移る。

バツ

飛び移った。

そして足場に桐乃の手がつく。

桐「危なかったわね……。」

桐乃は言いながら、足場を上る。

麻「これはさすがに落ちるんじゃないかなあ……。」

麻奈実は心配するが、

京「大丈夫だ。しっかりと桐乃の手を掴めばいい。」

京介がそう言うのと麻奈実は、

麻「わかったわ。」

リラックスした表情で言う。

桐「絶対に手を離さないでよ。」

桐乃は手を伸ばす。

麻「じゃあ行くよ。」

麻奈実は足場に飛び移ろうとする。

麻「えいっ！」

飛び移った。

ガシッ

麻奈実は桐乃の手を掴む。

麻「わわわ・・・。」

麻奈実は恐れるが、

桐「ちゃんとしっかり掴んでよ！」

麻「は、はい。」

そう言うとな麻奈実は慎重に足場に移動する。

麻「危なかったです。」

麻奈実はほっとする。

京「よし、最後俺行くぞ。」

京介は助走をつけて、足場に移動しようとする。

バツ

飛び移った。

ガシッ

足場に京介の手が来る。

京「おっとっと・・・。」

京介は何とか足場に上ってくる。

京「よし、何とか誰も落ちずに、第3ゾーンまでついたな。」

――――

サポートルーム

沙織「おおっ、3人ともすごいでござるな。」

黒猫「誰も落ちないなんてあの3人すごい・・・。」

大河「あの3人、なかなかやるわね。」

亜美「本当に侮れないわね。」

竜児「これは相手強いな。」

両チーム、3人を褒める。

――――

男ナレ「なんというあざやかなチームワーク！何かと張り合いながらも力を合わせれば出来る3人である。」

女ナレ「第3ゾーン、クイズスタートです。床が傾き始めます。」

床 再指導

床が傾き始め、第2ゾーンの足場がなくなる。

女ナレ「共通ワードクイズ、正解ノルマは1問。問題。」

1・12月2日、Aが大事な用事にいつ来れるかと聞いて、Bが来週なら予定が開いてると言って、Aが一言。

2・料理店に言って、おいしいと評判のカニを頼んだら、本当においしかったので一言。

□□□□□□る

桐「これ難しいわね……。」

麻「何でしょう。来週が開いてるということは一週間後ですよね。」

京「12月2日がかなり重要な所だな。」

麻「一週間後ということは9日ですね。」

桐「ここのか……、ここのかにいける……ここのかにいける！」

桐乃はボタンを押す。

桐「『ここのかにいける』！」

ピンポンピンポーン

正解 ここのかにいける（1・9日^{いこのか}に行ける 2・ここのカニいける）

壁 一時停止

床が止まる 床36・1度 残り2分40秒

京「無事クリアしたな。」

そしてモニターにフアラ男が現れる。

ファラ男「いや、君たち3人すごいよ！性格全然違う3人だけど意外とチームワークいいんだね。」

桐「今回だよ。さすがに人を見捨ててゲームはできないわ。」

京「桐乃は意地っ張りだからな。」

麻奈実「私もここまで来るとは思いませんでした。」

さあ3人はファラ男像を獲得するために最後の難関に挑む。

果たしてファラ男像を獲得できるか・・・。

床の間 その3

見事床の間で誰も落ちずに第3ゾーンまでたどり着いた俺妹チームの3人。

さあ3人はファラ男像を獲得するための最後の難関に挑む。

男ナレ「ここから3人は、黄金のファラ男像への最後の難関、坂落ちの試練！」

これから出題されるのは3択クイズ。正解と同じ色の玉を手に取り、坂の下にある顔の口にはめ込む。正解すれば、ステージクリア！」

3人の反対側にある方向に赤・青・黄色の3つの玉がある。

下には玉を入れるための口とボタンがある。

男ナレ「制限時間は2分。時間一杯まで、残っているメンバーがチャレンジできる。」

ファラ男「それでは、足場を出しておきましょう！」

京「足場・・・？」

すると3人の真下に足場が現れた。

桐「あれね。」

麻「あそこまで行くの怖いな・・・。」

ファラ男「それでは、皆さんの検討を祈ります！頑張っ
てねー。」

そう言うともニターからファラ男が消える。

女ナレ「それでは、坂落ちの試練、スタートです。」

カチャン

ロープのロックが解除され、使えるようになった。

ピーーーーー

坂落ちの試練 開始

2分のカウントダウンが始まる。

床 再始動

床が傾き始める。

桐「また傾いてきたわね。」

女ナレ「正しい意味はどれ？クイズ。」

問題・「板魚」の正しい意味を次の3つから選
びなさい。

赤・ヒラメ

青・カレイ

黄色・サバ

京「『板魚』・・・？あまり聞かない言葉だな。」

麻「ヒラメとカレイって何が違うのかな？」

桐「『左ヒラメの右カレイ』という言葉聞いたことがあるわ。確か置いた位置でヒラメかカレイかということを判別できると言っていたわ。」

京「じゃあヒラメかカレイだな。サバはなんか違う気がするな。」

桐「確かヒラメの方がカレイより貴重じゃなかったじゃないかしら？だってお寿司でヒラメはあるけどカレイはなかったし。」

麻「ああ確かにそう言われれば。じゃあヒラメじゃないんですか？」

桐「ちょっとまだ確定したわけじゃないけど・・・、時間も関係するからじゃあヒラメね。」

京「じゃあ俺が行こう。」

桐「あんた大丈夫なの？」

京「大丈夫だ。」

そう言うとき京介は、ロープのある所まで行こうとする。

バツ

京介はロープを掴む。

京「危ねえ危ねえ・・・。」

京介もこれにはヒヤツとするも、玉のある所まで上る。

京「確かヒラメは赤だったな。」

桐「そうよ、赤よ。」

京介は赤の玉を手に取り、腰に引っ掛けているポジエットに入れる。

京「あとはあそこまで行けば。」

京介は深呼吸をして、真下の足場に降りようとする。

ここで残り1分となる。

位置を調整し、京介はロープを手から離す。

そして見事足場につく。

京「よし、これを・・・。」

京介は赤の玉を壁の口に入れ・・・、

カチッ

ボタンを押した。

――――

沙織「正解であってほしいであるな。」

黒猫「当たって・・・。」

沙織と黒猫は祈る。

亜美「間違えろ！間違えろ！」

亜美は間違いだと祈る。

――――

男ナレ「これが正解なら3人クリアとなる！果たして!？」

ピンポンピンポーン

正解

桐「正解？」

京「そうみたいだ。」

女ナレ「坂落ちの試練、成功です。」

麻「クリアですか？」

桐「正解したから、そうに決まっているじゃない。」

――――

沙織「おおー！3人成功したでござるな！」

黒猫「お見事。」

喜ぶ2人。

亜美「あちゃー、正解されちゃったわね。」

竜児「これは俺たちのチーム苦しくなるな。」

とらドラチームに不安が声が出るが、

大河「でもまだ私たちのチーム、挑戦していないでしょ？ 私たちもたくさん稼げばいい話じゃない。」

竜児「まあそれはそうだけどな。」

――――

そして床が元に戻る。

京「本当に誰も落ちずに成功するとは思わなかったな。」

京介は少し疲れた表情を見せる。

ピーー

宝箱のロックが解除され、3体のフアラ男像が出てくる。

3人はフアラ男像を手取る。

男ナレ「俺妹チーム、息の合ったチームワークのおかげで3人分のフアラ男像をゲット！」

3人はサポートルームに戻る。

フアラ男「君たち本当にすごいねー。最後まで3人で考えた末、正解したんだから。」

桐乃「ふん、別に協力したくてしたわけじゃないのよ。」

ツンとした表情をする桐乃。

京介「桐乃、やっぱりお前本当に強情っぱりだな。」

少しあきれ京介。

フアラ男「じゃあ俺妹チーム、大活躍だったということで、宣伝を

してもらいます！宣伝は後書きに方で！」

次はとらドラチームが挑戦。

床の間 その3（後書き）

12月7日「俺の妹がこんなに可愛いわけがないComplete Collection＋俺妹コンプ＋！」が発売！
アニメで放送されて流れたED曲が勢ぞろい！
新録ボーナストラック曲もあるよ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9865y/>

第2回アニメキャラ限定 謎解きバトルTORE!

2011年12月3日17時53分発行